

ライフドアすわ通信



ライフドアすわ 諏訪市地域医療・介護連携推進センター（平日8:30-17:00）

ホームページ <http://www.lifedoor-suwa.jp/>

住所 〒392-0027 諏訪市湖岸通り5-12-5（諏訪市医師会館1階） TEL 0266-78-0477 FAX 0266-78-0478 メール info@lifedoor-suwa.jp

就任にあたって

センター長 高林 康樹



令和7年6月からライフドアすわセンター長に就任しました。随分日が経ちますが、本紙での就任の挨拶が遅くなりました。誠に申し訳ございません。よろしくお願い致します。

ライフドアすわは、膨大な準備をし、平成29年に初代センター長の小松郁俊先生により開設されました。ともに設立に尽力された前々センター長宮坂圭一先生、その次代を受けた前センター長小島洋二先生、各先生の偉業を引き継ぎ、私が4代目になります。

既に2025年問題の年も進み、想定以上に少子高齢化が深刻に進行している社会情勢に鑑み、とりわけ諏訪市においては小家族や独居事例も多い状況で、介護サービスのニーズはますます高まるところであります。そこに無数の事業体が参画し、サービスはますます多様化し、束ねるケアマネジャーの多忙さは筆舌に尽くしがたいです。また訪問看護も在宅医療の要としてその役割が確立し、まさに在宅で専門的な看護と機動的な介護が両立する体制が広がっています。そこに行政の幅広く奥深い力としての地域包括支援センターや、きめ細かに地域に浸透している各地の社会福祉協議会とつながりあつて、利用者さんは完全に支えられています。その立体的な支援構造の中心にいて要となっているのがライフドアすわであり、その役割、期待、忙しさは留まるところが見えない状況であります。既にセンター長としてかわつてきて5カ月余り、ライフドアすわが救っている事例をたくさん見聞きし、忙しくとも熱く真剣な眼差しで奮闘する職員の横に居て、このセンターの花がよく開いたと実感しているところでもあります。

まだまだそれでもたくさんの方の事例・業務が次々あります。多職種の活動の支援が必要です。行政や団体との調整がさらに発展が必要です。アイデアもたくさん出てきます。このセンターを盛り上げ

て頑張っていきたいと思っています。

認知症カフェに来る方の笑顔がもつともっとたくさん見られるように。家族の方の笑顔がもつともっとたくさん見られるように。そして創立理念、「誰もが、いつでも困ったときに、その扉を叩いていただけるように。そしてその扉を開ければ、自分の生命をつないでいくことができるように」が実現されることを常に念頭において、頑張っていきたいと思っています。

諏訪市、地域包括支援センター、諏訪市社会福祉協議会、医師会、諏訪赤十字病院、その他関係団体のお力をお借りしていることに感謝しつつ。

退任にあたって

前センター長 小島 洋二



平成29年4月「ライフドアすわ」開設以来、小松郁俊先生、宮坂圭一先生のもと大きな発展を遂げてきました。令和5年、6月よりセンター長に就任し、同年8月、6周年記念講演会にて松本由明先生のもと「諏訪市版リビングウイイル」のお披露目を行い、同年12月より諏訪市医師会、諏訪赤十字病院で運営開始され、近隣医師会にもお願いし、令和6年1月より協力体制が出来ましたことが大きな出来事でした。様々な問題点もありますが、広まっ

ていくことを願っております。それ以外にも、宮坂圭一先生が始められた、出前講座、認知症カフェは大きな発展を認め、特に好評の認知症カフェはライフドアでの開催だけでは不十分で、市民の皆様にも参画いただき、民間での開催が望まれるところです。

ライフドアの様々な事業は、地域包括支援センター、諏訪赤十字病院、諏訪市社会福祉協議会、諏訪市との連携とともに、歯科医師会、薬剤師会、介護施設、民生委員をはじめ市民の方々のご理解があつて運営されています。

また、多くをお教えたいただいた、松本センター長代理、矢崎副センター長、スタッフの皆様、大変お世話になりました。これからは、高林康樹センター長の

もと更なる発展を期待しております。最後に、金子ゆかり市長様をはじめ市の関係者の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

知ってほしい、認知症のこと

9月の認知症月間に合わせ、認知症予防・啓発活動を行いました。



例年と同様に、認知症予防・啓発パネルを作製し、市役所、総合福祉センター（湯小路いきいき元気館）に展示しました。今年はパネルの一つを、「知ってほしい、私たちの思い」をテーマに、家族会「こむぎの会」、認知症カフェ「えが」に参加されている方、パネル展示を見に来てくださった来場者の方たちにメッセージを書いていただき、認知症への思いなどを届けました。

また、認知症リーフレットと認知症啓発グッズ（テーブルポップ）を作製し、市内の医療機関や薬局、認知症サポーター養成講座を受講されている事業所など約130カ所に配付し認知症の理解を呼びかけました。

認知症啓発グッズは、認知症サポーターや学生ボランティアの皆さんが手作りで作製しました。

2024年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。認知症の人と他の人々が互いに支え合いながら、ともに暮らすことができる共生社会を実現することを目指しています。

誰もが、いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために、認知症を自分ごととして捉え、認知症とともに歩んでいきましょう。

認知症予防・啓発講演会へご参加ください！

今年、映画「オレンジ・ランプ」を上映いたします。若年性認知症と診断された夫と妻の実話に基づいた優しさに満ちた物語です。

日時 11月29日（土）14時～16時

（開場13時30分）

会場 諏訪市総合福祉センター

湯小路いきいき元気館3階

交流ひろば

●参加費無料・申込不要 定員180名
※満席の場合は入場をお断りすること
※詳細はチラシをご確認ください。



令和7年度 地域支え合い協働セミナー開催

令和7年8月25日（月）諏訪市総合福祉センターにおいて、地域支え合い協働セミナーを開催しました。今年のテーマは「暮らし続けたい！諏訪市の環境って？」とし、今年4月より資源物として新たに回収されるようになった軟質プラスチックの内容も含め、市環境課より説明頂きました。市民や関係者約30名が参加し地域支え合いのまちづくりを主

旨に、カフェスタイルの和やかな雰囲気の中で、ゴミの分別体験や寸劇から参加者の環境への想いを語り合う機会となりました。今回のテーマは、昨年度の生活支援体制整備事業における諏訪市第1層協議会「高齢者のゴミ出し」を地域課題として取り上げた際、サービスや仕組みの充実だけでなく住民一人一人が関心を持つて、お互いさまに心地よく暮らせる地域を考える機会となりました。全ての人がごみ分別の全部を把握しているわけではありません。普段の生活



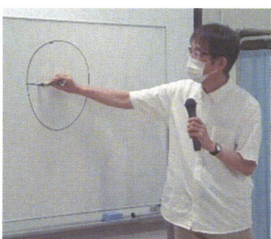
の中で分別に困っている方を見かけた際、優しい声掛けが地域に広がることを期待しています。

ライフドアすわ 開所8周年記念講演会



ライフドアすわは開所8周年を迎えました。今年度はテーマを「最後まで口から食べる」と題して講師に諏訪赤十字病院、リハビリテーション科部長 巨島文子先生と摂食嚥下障害看護認定看護師の清水元子氏をお招きし、7月28日（土）にいきいき元気館にて開所記念講演会を開催いたしました。講師2人から嚥下や嚥下障害について、動画を使ってわかりやすく説明していただきました。そして実際に緑茶と炭酸水にトロミ剤を入れてとろみをつける体験に参加者全員で行いました。参加者は62名でした。参加された方からは講師の話がわかり易かった。病気や高齢で嚥下が悪くなるのが解った。トロミの実演が良かったなどの声を頂きました。

第1回多職種連携研修



本年度の多職種連携研修を8月22日（金）に開催いたしました。今回はこのハートクリニック院長河野浩貴先生に講師をお願いし、「心疾患をもつ高齢者とかかわり方」をテーマに参加者からの質問に答える形で、ユーモアを交えながらの研修会でした。参加者は諏訪市内の専門職33名でした。

【第2回多職種連携研修開催のお知らせ】

日時 12月12日（金）19時～20時

会場 諏訪市医師会館検診センター

講師 高血圧症のキホンのお話

講師 河野浩貴先生

【第3回諏訪市地域ケア会議】開催のお知らせ

日時 11月21日（金）13時30分～15時

会場 諏訪市総合福祉センター

交流ひろば